

2020 年に向けた雨水を利用した打ち水事業の検討

1 目的

これまで打ち水事業は、区民に雨水利用を促進する観点から、暑さ対策の一環として進めてきた。今後も、その観点を継続しつつ、更に発展させて、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催を契機に以下の事業を実施することで、雨水利用の根付いている都市「すみだ」の特性をより一層強化して区の内外に対してアピールを行う。また、墨田区を訪れる観光客にも打ち水の有効性を体感してもらおう。

2 事業の概要

(1) 打ち水推進月間の設定（区内全域における打ち水の普及啓発）

2 年後に東京オリンピック・パラリンピック競技大会が実施される 7 月 24 日から 9 月 6 日までの期間を「すみだ打ち水推進月間」と定め、雨水を利用した打ち水の普及啓発を行う。

- ・雨水を利用した打ち水の実施について、墨田区オリンピック・パラリンピック地域協議会を通じて協力を募る。

対象：全参画団体

実施方法：日時を決めて、区内一斉に打ち水を実施する。

一斉打ち水実施日時：7 月 24 日、8 月 14 日及び 8 月 28 日

- ・雨水利用促進助成金を利用して雨水貯留槽を設置した区民にも、雨水を利用した打ち水の実施を呼びかける。

(2) 打ち水イベントの実施（庁舎及びオリパラ会場周辺における打ち水）

墨田区を訪れる観光客等にも、雨水を活用した打ち水は身近に涼しさを体感できるものとして認識してもらおう。

- ・すみだ打ち水推進月間の開始（7 月 24 日）に合わせて、区庁舎前で打ち水を実施する。
- ・区内会場周辺にある旧安田庭園で行われる納涼の夕べ（8 月 4、5 日）に合わせて実施する。
- ・すみだ打ち水推進月間の終了（9 月 6 日）に合わせて、両国駅前で行う打ち水を実施する。

3 2020 年までの流れ

平成 30 年（2018 年）事業具体化検討、協力者募集、助成金 PR 見直し、予算要求。打ち水イベントの試行。

雨水による打ち水、雨水タンクの普及。

平成 31 年（2019 年）前年度の打ち水の反省に基づきレガシーとして残るように工夫を加える。助成金の PR 強化。

平成 32 年（2020 年）大会本番に合わせて打ち水イベント等実施。

4 今後の検討課題

- (1) 打ち水イベントにおける雨水の運搬方法（レガシーとできるよう事業継続の仕組みづくりを検討）
- (2) 打ち水で雨水を消費しすぎると、植栽の散水等に利用予定の貯留雨水が不足し、水道消費量が増大してしまうケースが出てくることを検討。